

日 時 令和 7 年 1 月 17 日（金）13 時 30 分～16 時
場 所 牧之原市相良総合センターい～ら 福祉団体活動室
出 席 者 別紙のとおり
内 容 令和 6 年度第 1 回牧之原市地域公共交通会議

1 開 会

2 挨 拶（大石副市長）

- ・牧之原市は令和 7 年 10 月で市政 20 周年となる。第三次総合計画を基に様々な事業を展開していく。最大の課題は人口減少ということで 5 本の柱を用意し実行していく。
- ・そのうち 1 つが富士山型ネットワークの構築であり、公共交通が重要な課題である。
- ・高台開発について、だいぶ進んできており住宅部分については建設工事がはじまるといった状況にある。商業・産業ゾーンも今年の夏ごろに造成が終わる予定。
- ・坂部に出来る道の駅が今年 7 月にオープンし、多目的体育館も昨年オープンした。各地の拠点は徐々に出来てきているが、それを繋ぐ公共交通が課題であると感じている。是非活発なご議論をお願いしたい。
- ・今回の会議にて、委員の皆様の 2 年間の任期が満了となる。御礼申し上げる。

3 議 事

- ・委員 24 名中 22 名（欠席：堀内委員、都築委員）の出席により会議成立。

（1）令和 7 年度の運行に関する事項

①地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出路線の運行について … 資料 1、2

【事務局 笠井 説明】

【県地域交通課 廣津委員代理 説明】

【しずてつジャストライン(株) 藁科委員 説明】

（質疑応答）

【静岡運輸支局 増田委員】

事業者の増収策について、小学校へのバス教室の実施とあるが牧之原市内での実績はどのくらいあったのか。

【しずてつジャストライン(株) 藁科委員】

資料が手元にないため、数字はすぐには出てこないが幹線系統沿線の小学校からお声がけいただいて、営業所の都合があれば実施しているものである。

【静岡運輸支局 増田委員】

小さいうちから実際に触れる機会というのは大事と考えるため、引き続きやっていただきたい。

-承認-

【松尾座長】

承認事項ではないが、現在ガソリン代の高騰がすごく、家計への影響はもちろん乗合バス事業者にとってはかなり大きな影響がある。その上がったガソリン代は運賃や周辺自治体の補助金などに直結し、本来であれば運転手の労働環境の改善に使われるべきお金が燃料費へ消える懸念もある。公共交通にとっては非常に厳しい状況であるため、県として声を挙げるようお願い申し上げます。

② 生活交通確保計画案について

ア 自主運行バスの運行について … 資料 3、4、5

【事務局 笠井 説明】

【事務局 増田 説明】

(質疑応答)

【市民代表 赤堀委員】

鬼女菅山線の便数について、増便・減便等は考えていないのか。

【事務局 増田】

考えていない。元々朝 1 便のみであったが下校にも対応できるよう 2 便増やした経緯があるが、定時定路線であるため短縮日課に対応が出来ない。そこは保護者の方にも了承いただいて今の形で運行をしている。

-承認-

イ デマンド乗合タクシーの運行について … 資料 6、7、8、9

【事務局 笠井 説明】

【事務局 増田 説明】

(質疑応答)

【市民代表 増田委員】

じとうがた号の料金について、榛原病院の利用率が高いが運賃は 1000 円と 1500 円どちらになるのか。

【事務局 笠井】

榛原病院は細江地区となるため 1000 円である。

【市民代表 増田】

地頭方から榛原病院までバスで行くとどのくらいになるか。

【事務局 増田】

どこを起点にするかにもよるが、地頭方辻バス停からであれば 1040 円になる。

【松尾座長】

時間変更について、復路は 30 分前までに予約のままで往路が 1 時間前までに予約に変更するというのは利用者が混乱しないか。例えば 40 分前に電話をした場合の対応はどうなるのか。

【事務局 増田】

これから周知をしていくことになるが、当面はそういった事象が生じると思っている。しばらくはタクシー会社と連携し、臨機応変に対応していく。

-承認-

4 報 告

① 牧之原市地域公共交通計画について … 資料 10、資料 11

【事務局 増田 説明】

(質疑応答)

【市民代表 増田委員】

特急静岡相良線や、静岡空港線においてタッチ決済を導入する予定はあるか。日本全国で鉄道事業者・バス事業者共に導入が進んでいるが、クレジットカードやスマートフォンでやれば楽ではないか。

【しずてつジャストライン㈱ 市川委員代理】

おっしゃる通り、特に静岡空港線ではインバウンドの需要が高く導入されれば両替の手間が無くなり運転手の負担軽減につながる。ただ、現行サービスの拡充にとどまりそれ自体はバス利用者が劇的に増えるものでもない。加えて、導入費用も高額になることから弊社単独での導入は難しいという考え。

【市民代表 増田委員】

まずは静岡空港線だけでもご検討いただきたい。また、以前より話を挙げさせていただいている特急静岡相良線の榛原総合病院への終日乗り入れは出来ないか。浜岡営業所行きだけでもどうか。それであれば 1 時間に 1 本くらいである。

【しずてつジャストライン㈱ 市川委員代理】

浜岡便は現状でも運行時間が 90 分を越えている。これが榛原総合病院に乗り入れると

5分程度余分に時間がかかり速達性の維持が出来なくなるという考え。なので乗り入れについては難しいと言わざるを得ないという状況である。

【松尾座長】

公共交通計画の基本方針の中にも特急静岡相良線の病院乗り入れの記載があるので、難しいにしても調査が必要だと考える。先ほど、5分程度とあったが具体的にどのくらい時間を要するのか、そして乗り入れした場合どのくらいの方が利用するようになるのかといった数字の整理は必要かと思う。

【市民代表 増田委員】

根松牧之原警察署入口バス停だが、夕方から夜間にかけてスーツ姿の利用者が多い。それが警察関係なのか、病院関係なのか、それ以外なのかはわからないがもしそれが病院関係者であれば、かなりの距離歩いていることになる。利便性を上げれば利用者に繋がるので、マイナス面だけでなく利用者の事を考えていただきたい。バスの運行時間は法律上2時間を越えなければ問題ないはず。

話が変わるが、NHK 大河ドラマ「べらぼう」のラッピングバスについては本当にありがたい。これが実際に相良と静岡の間、東名高速を走るとなると牧之原市にとってはプラスイメージとなる。これでお客さんが特に史料館へ足を運んでいただければと思う。もしできればこの場でコマーシャルしてほしい。

【牧之原市副市長 大石会長】

御存じのとおり1月5日から放送が始まり、26日に大河ドラマ展をオープンする。場所は史料館の2階のスペースを利用し、大河ドラマのスペースや田沼意次の新しい像がわかるような展示を展開する。同時に平田寺をはじめ、田沼意次ゆかりの地を回っていただくようスタンプラリーの実施等様々なPR事業を展開していく。是非皆様からも外の方々へ伝えていただくようお願いしたい。

【松尾座長】

1点目の話になるが、病院乗り入れについては利用が増える一方で、運行の遅れを被る人もいるためバランスが大切である。そこについては調査するようにお願いします。

【市民代表 赤堀委員】

牧之原市には空港があり、今後高台開発や富士山型ネットワークの構築が重要視されているが、高台が整備され、どのくらいの人口が生まれるのか。また、それが沿岸部の人たちにとってどのようなメリットとなるのかがわからない。

そこにどんなものが出来、どう牧之原市が関わるのかが示されてから全体の交通を考えていきたいと思っている。

【牧之原市副市長 大石会長】

現在高台には 49 区画が整備されている。その中で区画を分割する人もいるため、実質的には 60 区画程度になると思われる。そこにどのくらいの人口になるのかというのは集合住宅等が建つことを考えると難しい。商業施設については今まさに大和ハウスの方で具体的に検討をしている最中である。その中でもバスのロータリーをどうするか等の構想を作っている所であるし、具体的に沿岸部と高台をどうつなぐか。市民にとって、外からくる人にとって利便性が高いものになるよう協議をしていく。

5 その他

・矢崎部品(株)ものづくりセンター従業員送迎バスの住民利用について

6 閉 会